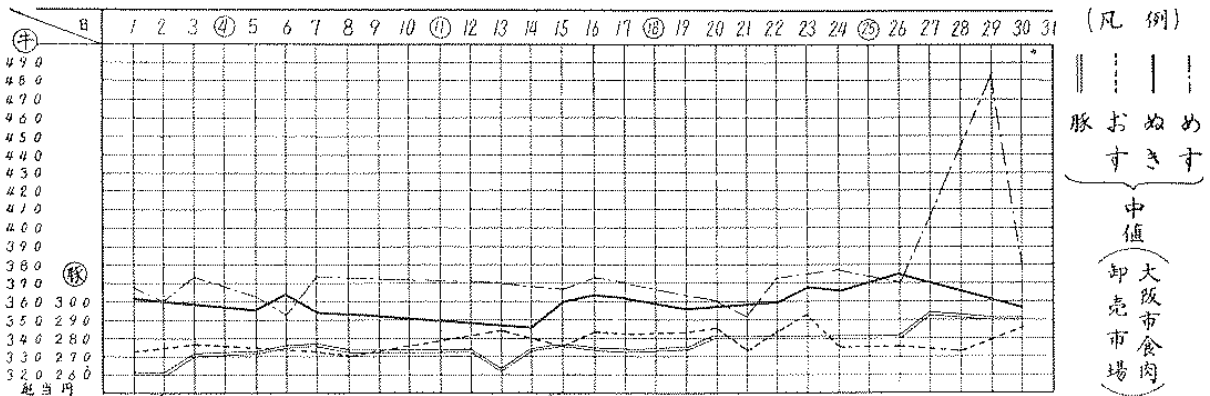


肉 畜 市 況 月 報

(36年6月)

大阪経済事務所



共 同 出 荷 実 績	団 体 名	畜 種	頭 数	平均 単 価	枝 肉 量 (kg)	売 上 金 額				摘 要
						枝 肉	原 皮	内 ぞう	計	
	県 畜 連	牛	61		16,077.5	6,120,340	333,230	257,190	6,710,760	中央畜産KK
	美作畜連	〃	21		4,785.6	1,849,450	91,760	83,380	2,024,590	大阪畜産KK
	野馳農協	〃	2		415.6	157,250	9,400	6,640	173,290	中央畜産KK
	中 島	〃	—		769.3	315,910	—	—	315,910	〃
	岡養豚組合	豚	60		3,509.8	966,980	—	33,310	1,000,290	〃
	津川農協	〃	10		762.4	199,610	—	7,240	206,850	〃
	県 畜 連	〃	54		3,444.6	934,740	—	20,800	955,540	〃
	高陽農協	〃	59		4,090.8	1,056,890	—	38,850	1,095,740	〃
	美作畜連	〃	151		9,312.8	2,424,960	—	82,710	2,507,670	大阪畜産KK

中 平 均 価 格 (<u>取当</u>)		36年6月	35年6月	と 殺 頭 数 (<u>大阪市と場</u>)	畜 種	頭 数	め す	お す	ぬ き
		め す	374円		337円	牛	4,244	1,754	858
ぬ き	361	323	仔 牛	369	52	317	—		
お す	339	307	馬	106	36	9	61		
豚	277	339	豚	9,486	4,079	59	5,348		
			めん羊	12	7	5	—		

牛は全般的に大体横這状況であり、中でもぬき及びおすが強保合を示し、めすが弱保合で大した変動もなく、極上物より中物に主として人気がある状況である。田上げ牛の影響も大した反動なく経過した。入荷量は中旬においてやや増量したが、一般に少なかったことが価格を堅持せしめたものと云える。今後もしばらくは大差なく経過するものと見込まれ、田上げ短期肥育牛の出荷、或は消費量も夏場需要の増量等を見込んだ変動を予想する向もある。

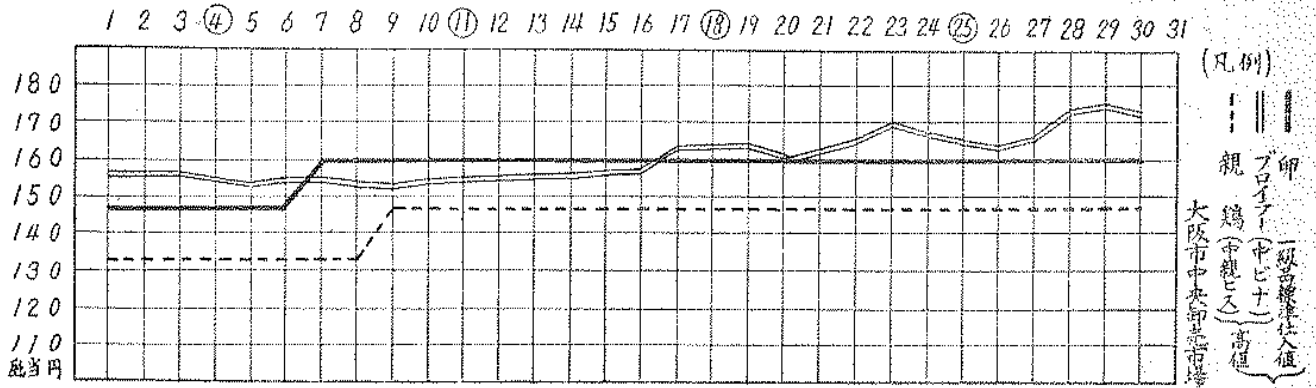
豚は月間を通じて強保合で経過したが、入荷量も逐次増加して、夏場需要を当て込んだ品物が荷もたれ気味もあり、今後の見透しとしては弱気配と見る向が多い。昨年と比較して牛は高値を呼んでいるが、豚は飼養頭数の増加もあり未だの感がある。

食卵食鶏市況月報

(36年6月)

大阪経済事務所

価格推移



平均価格 (K当)	36年6月		35年6月		阪神地区入荷推定数量	共同出荷実績					
	卵	円	円	卵		ブロイラー	親鶏				
	卵	161	170	3,649,762	45,000	6,000	経済連	1,459,904	—	—	
	ブロイラー	158	202	1,774,694	45,000	30,000	西大寺	18,249	—	—	
	親鶏	134	150	1,023,366	60,000	250,000	美作	346,728	—	—	
				その他	10,093,484	33,000	—	養鶏加工連	—	17,974	—
				計	16,541,306	183,000	286,000	計	1,824,881	45,000	—

6月における卵価は、1級品で週間平均価格が第1週158円、第2週154円、第3週158円、第4週は165円、強保合で、月末はやや持ち直したが、昨年同期に比較すると5円が安い、これは昨年の景気による雛の生産が多かったことが原因しているのと、天候の関係であろう。月末の豪雨による品不足等も関係して好調を呈した感がある。月間を通じて入荷も大体コンスタントな線を辿り、価格も大した変動なく、おおむね平穏な経過であった。現在輸出向け及びマヨネーズ等の大口需要がないだけに、先行き見通しは不安視されているが、これも一時的で暑さの本格化に伴い夏場景気も予想されている、月間入荷量最低日量80t最高135tで価格は最低150円最高は月末の175円であった。

☆ お 知 ら せ ☆

農業基盤整備に役

岡山県開発公社

▽機械化による土地改良整備

従来県で実施されていましたが、大型トラクター等による農業関係開発事業、すなわち県農業改良課実施の水田深耕および土層改良事業、県畜産課で実施していた牧野造成改良事業、さらに県耕地課で実施の開田開畑造成事業等を、公社が県の計画にもとづいて実施するもので、その他の開発事業についても公社が実施することになっています。

これらの事業実施にあたっては、従来の県保有の機械器具の公社への移行と、新規購入機械をもってこれにあて、公社職員も、県の職員と新規採用職員でその他の体制の充実をはかり、事業の円滑な推進と運営を行なうことにしております。

したがって、現在まで県有機械によって実施されてきた各事業は、公社が実施することになりますから、機械の使用につきましては、申請書を岡山県開発公社へ提出願うことになります。

▽本年度事業実施計画

昭和 36 年度における公社の事業実施予定は、水田深耕事業 450 ha、土層改良事業 30 ha、牧野造成改良事業 200 ha、開田開畑造成事業 60 ha となっており、県の計画の完全実施を図ることにしております。

規則等の詳細は県および市町村農協等を通じて御説明いたします。

(岡山県開発公社より)

ニュース

農業近代化資金（つなぎ融資）による家畜導入資金枠決定

農林省では、農業近代化資金関係法案の不成立にともなう善後措置として、このほど各県別の家畜種類別融資資金枠を決定指示した。

岡山県割当はつぎのとおりであるが、県内各農協への割当および家畜導入基準は近日中に決まる予定。

家畜導入つなぎ資金（単位千円）

乳牛 86,700、役肉用牛 20,160、豚おす 288、豚めす 1,536、合計 108,384

飼 料 市 況（岡山市7月平均）

	小売	前年比
フスマ（30キロ）	700円	30円安
麦ヌカ（ 〃 ）	720円	10円安
米ヌカ（ 〃 ）	690円	220円高
脱脂ヌカ（25キロ）	520円	60円安
玉蜀黍（37.5キロ）	1,000円	横バイ
大豆粕（ 〃 ）	1,680円	70円安

【概況】

糟糖類は平均して値下がり傾向にあるが、米ヌカは前月の非常な安値と、品不足気味から大巾高となった。玉蜀黍は先月に比べ横バイながら、強気配。

大豆粕は前月比70円安で、さらに値下がり傾向。